

市立池田病院緩和ケアチームにおけるPDCAサイクルの取り組み

| | |
|-------|-------------------------|
| 問題点 1 | 依頼元の病棟スタッフとの情報共有や協働が不十分 |
| 問題点 2 | 適切な時期に介入依頼が行えていないことがある |

| | |
|-------------------|--|
| 目標 1 | 依頼元の病棟スタッフと患者さまの治療やケアのゴール設定や途中経過について共有する |
| 計画 (Plan) | <ul style="list-style-type: none"> ①治療やケアのゴール設定や途中経過についてカルテに記載し、依頼元の病棟スタッフと共有する。 ②治療やケアのゴール設定や途中経過について回診時に確認を行う ③緩和ケアチーム介入中の患者さまについての病棟での多職種カンファレンスの回数を増やす（目標5件/年） ④リンクナースを活用する。リンクナースに緩和ケアチーム回診に参加してもらう（目標：リンクナース1人につき1回/年） ⑤患者さまに関連する医療スタッフに緩和ケアチームカンファレンスに参加してもらう。 |
| 実施した内容 (Do) | |
| 目標達成状況・理由 (Check) | |

| | |
|-------------------|---|
| 目標 2 | 早期から緩和ケアを受けられる体制を整備する |
| 計画 (Plan) | <ul style="list-style-type: none"> ①医療者、患者、家族に対して緩和ケアチームに関する広報を行う。 ②入院サポートセンターと連携を図り、入院時からの拾い上げを強化する。 ③回診時に必要となりそうな患者について情報を共有する。 ④外来で介入の必要がある患者の拾い上げができる方法を検討する。 ⑤緩和ケアチームへの依頼時期「診断から初期治療前」の割合を増加させる。目標値13%（2019年度10・8%） |
| 実施した内容 (Do) | |
| 目標達成状況・理由 (Check) | |